



259

# 若竹だより

## 【巻頭言】

### 国際交流

—ドイツ青年 7 人を迎えて—

園長 野田大燈

残暑お見舞い申し上げます。

園生たちは例年にない暑さにも負けず狭い園庭に見切りをつけてか周辺のクヌギ林に入ってカブトムシ探しに余念がありません。

2 学期の始業式前日夕刻に、隣接する喝破道場を訪れている「独日文化交流育英会」のメンバー 7 名 (女子 4 名・男子 3 名) の交歓会を催しました。

彼らは応募者 150 名の中から選抜されただけに、生物物理学の博士課程や、アルゴリズムとデータ構造分野での博士課程に在籍している者などのエリート集団でした。

交流会を催す計画は立てたもの、特に人間関係の苦手な園生が多いだけにドイツの方々にご迷惑をかけるのでは…、と言う危惧も孕んでいましたが職員の周到な計画の元に実施されました。

会場は付属の若竹学級 1 階の広間を使用し、正面に職員と園生が協力して作った歓迎のメッセージを掲げてドイツ人の入場を拍手で迎えました。

通訳の A 女史は日本人の母とドイツ人の父の間に生まれたと言う、生まれながらの独日交流の申し子のような方でした。

A 女史の和やかな雰囲気での紹介の甲斐あって園生はととてもリラックス出来て打ち解けた交

歓会となりました。職員側からしてもとても不思議な光景でした。

何故なら共通する言語を持たない者同士がめをキラキラさせながら談笑しつつ意思疎通できるのかの疑問です。

中には毛深いドイツ人青年の腕に触りながら語りかけている情景などは情緒障害児施設では想像できないと思います。

ドイツの方から園生全員に絵本やペンシル・お菓子などドイツの珍しいプレゼントを頂いて更に交歓会は盛り上がりました。

学園からは女子園生達が描いた様々な漫画チックな色紙が贈呈されました。

彼女たちの描いた色紙は遍路小屋にも置かれていますが遍路さんたちにととても好評で、気をよくした彼女たちは創作意欲を掻き立てられています。

どうしてこのような温かい交歓会が持てたのだろうか、と考えた時に「遍路小屋」の存在が浮かびました。

学園では特別な日を除いて日曜日の午後 2 時より 3 時まで園生 3～5 名が徒歩遍路さんにハーブティとお菓子のお接待をさせて頂いています。四国 88 カ所霊場の 81 番札所「白峰寺」と 82 番札所「根香寺」、そして 83 番「一宮寺」への三叉路にある遍路小屋前は沢山の徒歩遍路さんが行き交われますので「おもてなし」という名目に託けて園生達に対人恐怖症の克服訓練を思い立ったのです。

当初は怖気づいて声も出せなかった園生が「お遍路さん、お疲れ様です。ハーブティとお菓子は如何ですか」と笑顔で話せるのですから。

—了—

# サマ-キャンブ

7 月 27, 28 日、毎年恒例のキャンブに行ってきました。台風の影響を心配していましたが、大きく崩れることなく、予定通り行うことが出来ました。

今年は海水浴やプール、水鉄砲を使ったウォーターサバイバルなど、猛暑の中でも涼みながら思いっきり遊びました。食事は子ども達と一緒に買い出しに行き、バーベキューをしてお腹いっぱい食べました。



〈海水浴〉

よし、泳ぐぞ!



〈プール〉

気持ちいい♪

## 《キャンブ楽しかったことランキング》

- 1. 海水浴
  - 1. プール (ウォーターライダー)
  - 3. 肝試し&レクリエーション
- その他：テントで寝たこと、全部!



〈バーベキュー〉

美味しく焼きました♪



夏休みの良い思い出ができました!!

# 太鼓練習

学園では毎月 1 回、太鼓練習をしています。今回はいつも指導して下さっている満天さんに演奏会を開いていただきました。

演奏が始まると、とても大きな音を体で感じ、一気に太鼓の世界に引き込まれていました。演奏の後半には子ども達も一緒に参加させて頂き、楽しく太鼓に触れることが出来ました。初めて参加した子も「またしたい!」と話しており、今後の練習が楽しみです。



満天さん、ありがとうございました!

# お盆お団子作り

近年、家庭でもお供え物を手作りする機会が少なくなっています。日



本の文化であるお盆を知る機会になれば



と毎年この時期に、学園のお地蔵様のお供え物を作っています。8 月 15 日の食育行事でお団子を作り、お地蔵様にお参りをした後、残った団子をおいしくいただきました。

# 夏休み！！

今年の夏休みは川、釣り、ウォーターサバイバルなど、暑さに負けず色々な水遊びを楽しみました。



また、かき氷やスイカ割りなど、食べ物からも夏を感じました！！



夏休み後半、久しぶりに峰山公園へ遊びに行きました。猛暑の中でしたが、子ども達は元気いっぱい公園で体を動かしました。アリジゴクから自力で走って抜け出そうと何度も挑戦してみたり、アスレチックのすべり台をしたりといつもと違う環境で良い気分転換になりました。「暑かったけど、楽しかった！また行こうね♪」と帰りのバスの中で話している子もいました。もう少し涼しくなったら、思い切り体を動かしに行きたいと思います。



# ライオンズクラブ さん来園

去年に引き続き、今年もライオンズクラブの方々が来園下さり、バーベキューで子ども達にたくさんのお肉や野菜を振る舞って下さいました。一緒にお肉や野菜を焼きながら色々なお話を聞かせて頂き、良い経験になりました。



バーベキューの後には高松市の太鼓グループ「夢幻の会」の方々に太鼓の演奏を披露して頂きました。子ども達と同年代の方々が演奏して下さい、迫力ある演奏をしていたのが同じ学年だと知ってびっくりしている子どももいました。一緒に太鼓を叩かせて頂き、若竹太鼓を披露するなど、良い交流が出来ました。

最後に学園からお礼として園生代表が作った絵や折り紙の作品をお渡ししました。学園の子ども達のことを考えてくれている人がたくさんいることを改めて知る良い機会となり、「これからも様々な人に感謝をしながら頑張っていこうね」と話しをしました。ライオンズクラブさん、夢幻の会さんありがとうございました。

最後に学園からお礼として園生代表が作った絵や折り紙の作品をお渡ししました。学園の子ども達のことを考えてくれている人がたくさんいることを改めて知る良い機会となり、「これからも様々な人に感謝をしながら頑張っていこうね」と話しをしました。ライオンズクラブさん、夢幻の会さんありがとうございました。



## 園生自由研究

五色台の大自然の中という恵まれた環境の中で、小学生男子を中心に毎日虫取りを楽しんでいます。今年は一人の男の子が捕まえたセミについて図鑑で調べて標本を作っていました。



## 園生作品紹介

園長の指導の元、園生がお茶碗を作りました。初めてでしたが、集中してあっという間に作りあげたそうです。



## ドイツからのお客様

24 日、若竹学園にドイツ人 7 名が来園され交流会を企画しました。短い時間でしたが子ども達はドイツのことを知ろうとたくさんの質問をし、コミュニケーションを図っていました。驚いたことに人見知りする子が少なく積極的に話しかけていました。ドイツ人の方々は、日本語があまり理解できず、何度も聞き返していましたが、子ども達はどのような言葉を使うとわかりやすいか試行錯誤しながら言葉を選んでいました。



～御寄附ありがとうございました～

たまや様  
藤田賀子様

日用品等  
ジュース



- 8 日 太鼓練習
- 15 日 お盆お団子作り
- 23 日 ライオンズクラブさん来園
- 24 日 亀山学園上棟式  
ドイツの方と交流会
- 25 日 始業式

在籍人数 平成 27 年 8 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男子	小学生	1	5	6
	中学生	6	4	10
	その他	0	0	0
	計	7	9	16
女子	小学生	2	0	2
	中学生	4	2	6
	その他	0	0	0
	計	6	2	8
合計		13	11	24

## 編集後記

あっという間に夏休みが終わり、2 学期に突入です。夏休みの思い出を胸に涼しい中で学校生活も頑張ってもらえればと思います。保育士 山倉麻由子

第 259 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

E メール [wakatake@mail.netwave.or.jp](mailto:wakatake@mail.netwave.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈